



医療保険課職員

保険料収納状況(26~28年度)

年度	現年分	過年度分	全体(%)	コンビニ収納件数(件)
平成26年度	92.87	17.06	80.11	29,672
平成27年度	92.99	18.18	80.78	30,244
平成28年度	93.50	22.27	82.35	31,021

特定健診の受診率

年度	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)
平成24年度	26,970	6,636	24.6
...			
平成27年度	25,925	7,474	28.8
平成28年度	24,902	8,152	32.7



新境川堤の桜

これらの効果もあり平成29年度においては平成30年3月時点で受診率が34%を超えており、県内平均まで手が届くところまで来ています。平成30年度はデータヘルス計画で目標とした受診率36%を目指し、事業効果分析において実施効果が高かった電話勧奨時間の拡大や、リーダーへの継続勧奨により、受診習慣の定着を図る予定です。



かかみがはら三ツティマラソン2018(自衛隊岐阜基地にて)

合が大きく増加しており、全体の約半数を占めています。保険料の収納率はコンビニ収納の導入、差押など徴収業務に携わる職員の増員により年々改善してきましたが、実質的な収入額は被保険者数の減少により、減少の一途をたっています。また、一人当たり医療費は前期高齢者の増加に伴い増加傾向にあるため、徴収体制強化などによる、更なる収納率の向上と医療費の適正化に努めていくことが責務となっています。

健診受診率の向上

県内受診率最下位から脱却するため、平成27年度より受診を促す啓発のほり、椅子カバーを医療保険課の窓口にて、啓発懸垂幕を産業文化センター前のサイン塔に設置し、視覚に訴える啓発活動を行ってきました。また、健診未受診の方には、年齢や受診歴などに応じて、内容を変えた、手紙やハガキなどできめ細かく勧奨するとともに、夜間に電話での受診

勧奨を行うことで受診率の向上を図ってきました。更に、平成27年11月から、県内では初めて、生活習慣病などで既に市内医療機関を受診されている方の検査結果を国保の健診の一部として取り扱う情報提供事業を開始し、健診への意識を高めました。また、以前から市独自で行っていた人間ドックなどと合わせて被保険者の選択肢を増やし、健診を受けやすい環境を整えてきました。

今後の課題

制度改革により、将来的には保険料負担の平準化を図ることを目指していくこととなりますが、被保険者への急激な保険料負担の増加を防ぐため、県や県内の全市町村が共通認識を持った上で、医療費の適正化、医療費水準の平準化を進めていくことが大切であり、そのためにも、県と市町村が具体的な方策を検討し、実効性のある取り組みを進めていくように努めていきます。



岐阜かかみがはら航空宇宙博物館



Kakamigahara City

保険者シリーズ

各務原市

しあわせを実感できるまち

ひとを育むことで、まちや地域が成長し、安全・安心な暮らしを守ることで、豊かな生活が生まれる。「ひと」「くらし」「まち」とともに育むまちづくりを進めています。



ものづくりのまち (市の概況)

各務原市は、岐阜県南部、名古屋から30km圏に位置し、JR高山本線、名鉄各務原線、名鉄犬山線が市全体を横断しているなど、地の利に恵まれた地域です。明治時代に設置された砲兵演習場が、大正時代に各務原飛行場へと変遷していくのに並行して航空機産業や繊維産業などが発展し、現在の都市としての核が形成されました。

当地域は、平成23年12月に「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区」に指定され、航空機、自動車関連産業、化学工業を中心とする岐阜県下1位の工業出荷額を誇る、ものづくりのまちとして発展しています。昨年は、各務原飛行場が開設100周年を迎え、また、平成8年にオープンした、岐阜かかみがはら航空宇宙博物館は魅力向上のためリニューアルオープンし、JAXAをはじめ米国スミソニアン航空宇宙博物館やNASAなどの国際協力を視野に、当地域を航空宇宙産業のメッカとして国内外に発信する拠点、また市の産業振興や人材育成などに取り組む拠点として、再整備されました。

担当部署紹介

国民健康保険業務を担当する医療保険課は課員19名で、国民健康保険、後期高齢者医療、福祉医療の業務に当たっております。加えて、健診や保健指導を含む保健事業に関しては健康管理課の保健師と、また、住民異動に伴う国保の資格取得、喪失などは市民課など関係窓口と連携して、きめ細かな対応に努めています。年間を通して最も引越しの多い年度末及び年度初めは、円滑な手続きのため、日曜日の臨時窓口及び平日の窓口時間延長により市民サービスの向上を図っています。また、市内6箇所ある市民サービスセンター窓口でも、申請や相談に対応できるように密な連携を心掛けています。

保険料の収納率向上

各務原市の国民健康保険の状況は、総人口148,272人(平成29年4月1日)に対して、被保険者数が34,986人(加入割合23.5%)で年々減少しています。被保険者の構成は、40歳未満の層の割合が大きく減少する一方で、前期高齢者の割